

地域ネットワークニュース

～令和5年4月の勉強会のお知らせ＆令和5年3月の勉強会報告～

幼児期における発達障害の理解

～「気づき」から「支援」につなぐポイント～

講師：発達障害者支援センター ^{カラーズ}COLORSつくば
枝松 慎次郎氏（臨床心理士・公認心理士）

日時：4月20日（木）

時間：午後7時～午後8時30分

場所：保健・福祉会館2階 研修室

定員：50名（要事前予約）

第274回の勉強会は、発達障害の中でも特に関わりが大切とされる3歳～小学校就学前の幼児に関わる新任の保育士の方や児童福祉・教育に関わる専門職の方向けに、発達障害についての基礎知識を学ぶ機会として開催します。



発達が気になる子の行動や態度は「落ち着きがない」「自分勝手」「困った子」と誤解されてしまうことが多く、周りからも理解されにくい障害とされています。例えば「落ち着きがない」といった行動の背景には、幼児自身が「何をする時間なのか分からない」といった先の見通しが立てられず混乱していたり、「周囲の声や物音が気になり、先生の話が聞こえない」ことで不安に感じているなどの気持ちを、ことばで表現することが苦手であるがゆえに行動で訴えている、と考えられます。これらの行動は大人が子どもの気持ちを感じ取り、特性を理解し、適切なサポートをすることで軽減されることから、周りの支援者が支援のポイントを知ることが必要となります。そこで今回は、発達が気になる子の特性や基本的な対応方法を学び、関係機関と連携する際のポイントについて「COLORSつくば」で発達支援を担当している枝松さんをお招きし、具体的な支援事例を交えてお話しいただきます。4月は新年度・新学期が始まり新たな出会いや学びを広げられる絶好の時期となります。この機会に発達障害について学び、関係機関とのネットワークづくりをしてみたいかがでしょうか？多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

「COLORSつくば」は茨城県から発達障害者支援センターの委託を受け、鹿行地域を管轄区域とし、発達障害について相談支援や普及・啓発活動を行っています。

会場には情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所等のパンフレットやチラシ、研修会のご案内など、配布、展示いたします。当日のご持参でもかまいません。みなさまからの情報をお待ちしています。

申込・問合せ先 神栖市社協 地域福祉総合相談センター 担当 川田、三浦 電話 0299-93-0294

第273回 地域ネットワーク勉強会報告

令和5年3月16日開催 <参加者26名>

高次脳機能障害支援センターと高次脳機能障害を考える会～こころのよりどころとなる家族会～

○茨城県高次脳機能障害支援センター

○高次脳機能障害を考える会（家族会）

高橋 由紀氏・高松 麻美子氏

石井 安雄氏・御所脇 美代子氏

今回の勉強会では、茨城県高次脳機能障害支援センターの高橋氏、高松氏と神栖市内で平成17年から「高次脳機能障害を考える会」として活動されている石井氏、御所脇氏をお招きし「こころのよりどころとなる家族会」をテーマにお話しいただきました。高松さんからは、高次脳機能障害についての基礎的な知識を始め、支援センターの業務内容、県内の家族会との関わりや地域におけるピアサポートの重要性などをお話しいただきました。また、考える会の石井さん、御所脇さんからは、当事者やその家族となったときの思いや家族会と出会ったきっかけなどをお話しいただきました。



勉強会の最後に回収したアンケートでは、「家族会の活動内容や体験してきたことなど貴重な話を聞けた」など様々な感想をいただきました。高次脳機能障害に限らず、身近な地域で同じ悩みを抱える方同士が集い、語らう場所がある事の大切さを実感できた大変貴重な時間となりました。